

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	町民課				
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備					
2. 事業名		幼児期の学校教育・保育の推進（1号認定）					
3. 事業内容		教育を希望する（保育を必要としない）3歳から5歳の子どもの受け入れる。					
4. 現状と課題		保育を必要としない児童は少なく、人数はわずかである。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込		5人	5人	5人	3人	3人
	確保の内容		5人	5人	5人	5人	5人
	特定教育・保育施設		5人	5人	5人	5人	5人
	地域型保育事業						
実績値	確保の内容		5人	5人	5人	5人	5人
	特定教育・保育施設		5人	5人	5人	5人	5人
	地域型保育事業						
内部評価							
実施結果		入所者数：3名（広域受入者0名）、広域入所者0名 前年：2名（広域受入者0名）、広域入所者2名					
評価結果（成果）		利用は少数であるが、保育を必要としない就学前の子どもを受け入れ、教育部分での役割を果たした。					成果からの方向性 継続維持
6. 今後の課題							
本町では保育に比べ需要が低いが、認定こども園の機能として保育を必要としない就学前の子どもの受け入れは必要であり、保育と教育を一体的に行う中で役割を果たしていく。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
ニーズを満たしており、課題はない。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
保育を必要とせず教育を希望する者の需要は限定的だが、引き続き子育ての選択肢としての 受皿（定員数）の確保を図る。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	町民課																																																											
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備																																																												
2. 事業名		幼児期の学校教育・保育の推進（2号認定）																																																												
3. 事業内容		保護者の就労や疾病等の理由により、保育を必要とする3歳から5歳の子どもを預かる。																																																												
4. 現状と課題		保育の需要は高く、保育必要理由の大半が就労である。保育の需要は高いが、児童数が減少傾向にあり適切な利用定員の設定及び配置人員の検討が必要となっている。																																																												
5. 年次計画（計画値、実績値）																																																														
		<table><tr><td colspan="2">区分</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="4">計画値</td><td>見込</td><td>140人</td><td>124人</td><td>104人</td><td>90人</td><td>73人</td></tr><tr><td>確保の内容</td><td>140人</td><td>130人</td><td>120人</td><td>100人</td><td>80人</td></tr><tr><td>特定教育・保育施設</td><td>140人</td><td>130人</td><td>125人</td><td>100人</td><td>80人</td></tr><tr><td>地域型保育事業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">実績値</td><td>確保の内容</td><td>140人</td><td>127人</td><td>114人</td><td>91人</td><td>74人</td></tr><tr><td>特定教育・保育施設</td><td>140人</td><td>127人</td><td>114人</td><td>91人</td><td>74人</td></tr><tr><td>地域型保育事業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				区分		R2	R3	R4	R5	R6	計画値	見込	140人	124人	104人	90人	73人	確保の内容	140人	130人	120人	100人	80人	特定教育・保育施設	140人	130人	125人	100人	80人	地域型保育事業						実績値	確保の内容	140人	127人	114人	91人	74人	特定教育・保育施設	140人	127人	114人	91人	74人	地域型保育事業											
区分		R2	R3	R4	R5	R6																																																								
計画値	見込	140人	124人	104人	90人	73人																																																								
	確保の内容	140人	130人	120人	100人	80人																																																								
	特定教育・保育施設	140人	130人	125人	100人	80人																																																								
	地域型保育事業																																																													
実績値	確保の内容	140人	127人	114人	91人	74人																																																								
	特定教育・保育施設	140人	127人	114人	91人	74人																																																								
	地域型保育事業																																																													
内部評価																																																														
実施結果		入所者数：71名（広域受入者6名） ※広域入所者11名 前年：82名（広域受入者3名） ※広域入所者16名																																																												
評価結果（成果）		広域入所を選択される場合もあるものの、町内の園を希望する児童を全て受け入れ、保育需要に応えた。																																																												
		成果からの方向性 継続維持																																																												
6. 今後の課題																																																														
近年、児童数が急激な減少傾向にあり、人口推計値等を勘案しながら町内保育所及び認定こども園の体制について検討していく必要がある。																																																														

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
児童数は減少傾向にあるが、保育の需要は高いため、確実な受け入れのための保育士の確保など、安定した保育所の運営に努める必要がある。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
現在の受入体制を維持し、引き続き事業の円滑実施に努める。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	町民課																																																							
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備																																																								
2. 事業名		幼児期の学校教育・保育の推進（3号認定）																																																								
3. 事業内容		保護者の就労や疾病等の理由により、保育を必要とする0歳から2歳の子どもを預かる。																																																								
4. 現状と課題		保育の需要は高く、保育必要理由の大半が就労である。児童数は減少傾向にあるが、低年齢の保育需要は依然として高く、適切な受け入れ態勢を整える必要がある。																																																								
5. 年次計画（計画値、実績値）																																																										
		<table><tr><td colspan="2">区分</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="4">計画値</td><td>見込</td><td>84人</td><td>96人</td><td>101人</td><td>54人</td><td>55人</td></tr><tr><td>確保の内容</td><td>90人</td><td>100人</td><td>110人</td><td>60人</td><td>60人</td></tr><tr><td>特定教育・保育施設</td><td>90人</td><td>100人</td><td>110人</td><td>60人</td><td>60人</td></tr><tr><td>地域型保育事業</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td rowspan="3">実績値</td><td>確保の内容</td><td>90人</td><td>73人</td><td>66人</td><td>66人</td><td>56人</td></tr><tr><td>特定教育・保育施設</td><td>90人</td><td>73人</td><td>66人</td><td>66人</td><td>56人</td></tr><tr><td>地域型保育事業</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr></table>						区分		R2	R3	R4	R5	R6	計画値	見込	84人	96人	101人	54人	55人	確保の内容	90人	100人	110人	60人	60人	特定教育・保育施設	90人	100人	110人	60人	60人	地域型保育事業	0人	0人	0人	0人	0人	実績値	確保の内容	90人	73人	66人	66人	56人	特定教育・保育施設	90人	73人	66人	66人	56人	地域型保育事業	0人	0人	0人	0人	0人
区分		R2	R3	R4	R5	R6																																																				
計画値	見込	84人	96人	101人	54人	55人																																																				
	確保の内容	90人	100人	110人	60人	60人																																																				
	特定教育・保育施設	90人	100人	110人	60人	60人																																																				
	地域型保育事業	0人	0人	0人	0人	0人																																																				
実績値	確保の内容	90人	73人	66人	66人	56人																																																				
	特定教育・保育施設	90人	73人	66人	66人	56人																																																				
	地域型保育事業	0人	0人	0人	0人	0人																																																				
(2) 実利用人数：44人（みささ 21人、賀茂 23人）																																																										
内部評価																																																										
実施結果		入所者数：61名（広域受入者6名） ※広域入所者3名 前年：66名（広域受入者6名） ※広域入所者3名																																																								
評価結果（成果）		直近の出生数の減少の影響により実績が減となっている。 町内の園を希望する児童については、全て受け入れ、保育需要に応えた。					成果からの 方向性 継続維持																																																			
6. 今後の課題																																																										
近年、児童数が急激な減少傾向にあり、人口推計値等を勘案しながら町内保育所及び認定こども園の体制について検討していく必要がある。																																																										

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
児童数は減少傾向にあり、入所希望が定員数を超えることは想定されにくいですが、確実な受け入れのための保育士の確保など、安定した保育所の運営に努める必要がある。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
現在の受入体制を維持し、引き続き事業の円滑実施に努める。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		町民課																													
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備																															
2. 事業名		①時間外保育事業（延長保育事業）																															
3. 事業内容		保護者の勤務条件や家庭事情を考慮し、利用時間の範囲外の保育を延長する事業																															
4. 現状と課題		保護者の就労形態の多様化等に伴い、必要なサービスとして利用が定着している。																															
5. 年次計画（計画値、実績値）																																	
		<table><tr><td colspan="2">区分</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="2">計画値</td><td>見込</td><td>440人</td><td>440人</td><td>440人</td><td>440人</td><td>440人</td></tr><tr><td>確保の内容</td><td>440人</td><td>440人</td><td>440人</td><td>440人</td><td>440人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>確保の内容</td><td>440人</td><td>789人</td><td>314人</td><td>189人</td><td>142人</td></tr></table>					区分		R2	R3	R4	R5	R6	計画値	見込	440人	440人	440人	440人	440人	確保の内容	440人	440人	440人	440人	440人	実績値	確保の内容	440人	789人	314人	189人	142人
区分		R2	R3	R4	R5	R6																											
計画値	見込	440人	440人	440人	440人	440人																											
	確保の内容	440人	440人	440人	440人	440人																											
実績値	確保の内容	440人	789人	314人	189人	142人																											
内部評価																																	
実施結果		(1) 延利用人数：142人（みささ83人、賀茂 59人） 前年：189人（みささ141人、賀茂 46人、竹田2人） (2) 実利用人数：44人（みささ 21人、賀茂 23人） 前年：39人（みささ 21人、賀茂 16人、竹田2人）																															
評価結果（成果）		通常の利用時間を超えて保育の必要な方へのサービスが提供できた。				成果からの方向性 継続維持																											
6. 今後の課題																																	
家族のあり方や保護者の就労形態の多様化などに伴い、今後も需要が見込まれる。																																	

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
ニーズを満たしており、課題はない。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
事業実施にあたって、必要な保育士を確実に確保するよう努める。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

			担当課		教育総務課		
1. 基本施策			(1) 子どもが育つ環境の整備 (3) 地域ぐるみの子育て支援				
2. 事業名			②放課後児童健全育成事業（学童クラブ）				
3. 事業内容			就労等により昼間家庭に保護者等がいない小学生に対し、授業後の適切な遊びと生活の場を提供し健全育成を図る事業				
4. 現状と課題			町内2つの旧小学校単位それぞれで、平日、土曜日、長期休業にわたって児童クラブを開設。児童の安全・安心な居場所や活動場所を提供している。 三朝西学童クラブにおいては、国基準の支援単位40名を大幅に超過している現状であり、加えて支援員の高齢化、人員不足が課題である。				
5. 年次計画（計画値、実績値）							
区分			R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込	1～3年生	79人	91人	92人	92人	80人
		4～6年生	36人	29人	28人	28人	31人
		合計	115人	120人	120人	120人	111人
計画値	確保の内容	利用可能人数	120人	120人	120人	120人	120人
		クラブ数	3か所	3か所	2か所	2か所	2か所
実績値	確保の内容	利用可能人数	120人	120人	120人	120人	120人
		クラブ数	3か所	2か所	2か所	2か所	2か所
内部評価							
実施結果			(1) 学童指導員による生活・学習支援の場の提供 (三朝東、三朝西：年間250日以上開所) (2) 旧東小校区の学童クラブを三徳地域協議会へ委託 (3) 春・夏・冬期の長期休業中も児童の生活の場として開設 (4) 三朝西学童クラブについては、令和5年度から学校稼業日及び長期休業期間について、三朝小学校新校舎建設工事の関係で三朝小学校多目的室で開所している。 (5) 東学童クラブでマチコミメールによる保護者への情報伝達を開始した。 実績 ※各学童クラブの月平均利用者数が最大であった月の実績（最大値） 各学童クラブ内訳：三朝西50人、三朝東36人 前年：三朝西47人、三朝東36人				
評価結果（成果）			実績値は、前年とほぼ同数であった。 利用を希望する児童を受け入れ安全・安心な居場所の提供ができたが、依然として指導員が不足している現状。 学童だよりの発行を始めた。保護者へ日常の情報提供にも少しづつ力を入れ始めた。 支援員不足については、通年募集に努めている。				成果からの方向性 継続維持
6. 今後の課題							
(1) 放課後児童活動拠点施設のみならず経営方法（直営の西学童クラブ）についても検討が必要 (2) 地域資源を活用した教育支援・体験学習プログラムの実施（地域協議会、地域NPO等と連携） (3) 学童クラブ指導員が継続して勤務可能な環境づくり（資格取得の促進、専門性の向上） (4) 支援員等の高齢化に伴う人材の確保 (5) ICTを活用した情報発信や保護者連絡、児童活動等の促進 (6) 利用料等の見直し（県中部平均額等を参考に検討）							

7. 子ども・子育て会議からの意見
今後も引き続き、こどもの居場所づくりが求められていく国の動きの中で、量的の充足と質の向上が求められる。
8. 課題の解決方法・手段
今後、放課後児童対策パッケージ2025（R6.12）の内容を踏まえ、全てのこどもが安全・安心に過ごすとともに、多様な体験・活動を行うことができるような放課後の実現に向けて検討を行う。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☒ 拡大 ☐ その他（ ）
今後とも、共働き・ひとり親家庭の小学生の放課後の安心・安全な生活を継続的に保障するとともに、地域住民や地域の文化・伝統との関わりの中での多様な体験を通して子どもの健やかな成長を図る。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		町民課			
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備					
2. 事業名		③子育て短期支援事業					
3. 事業内容		保護者の疾病や就労等で養育が困難な児童を養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（ショートステイ事業・トワイライトステイ事業）					
4. 現状と課題		一時的に養育者が養育できない場合の児童の受け皿として必要					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込（利用者数）	7人	7人	7人	7人	7人	
	確保の内容（施設数）	1か所	1か所	1か所	2か所	2か所	
実績値	確保の内容（施設数）	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	
※受入施設：児童養護施設 因伯子供学園（倉吉市みどり町） 乳児院 米子聖園ベビーホーム（米子市上後藤）							
内部評価							
実施結果		利用実績：0人 前年：0人					
評価結果（成果）		養育者の疾病や出産等による一時預かりサービスの需要は、今後も発生することが想定されるため、引き続き、受入施設と事業実施のサービス締結を行い、養育者の支援を行う。					成果からの 方向性 継続維持
6. 今後の課題							
養育支援サービスの選択肢の一つとしてさらなる周知を図る。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
必要としている保護者への適切なサービス接続と情報の周知を図る。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
子育て世帯の多様化に伴う養育支援サービスの選択肢の一つとして、今後も児童養護施設との事業連携を図っていく。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		町民課			
1. 基本施策		(2) 切れ目のない子育て支援					
2. 事業名		④地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）					
3. 事業内容		乳幼児や保護者が相互交流する場所を開設し、仲間づくりや育児不安の悩み相談・助言等を行う事業					
4. 現状と課題		三朝町地域子育て支援センターをみささこども園に併設整備。保育士等の有資格者を支援サポーターとして配置し、週5日の開所を行っている。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込		2,000人	2,000人	2,000人	1,500人	1,300人
	確保の内容		2,000人 1か所	2,000人 1か所	2,000人 1か所	1,500人 1か所	1,300人 1か所
実績値	確保の内容		2,000人 1か所	2,000人 1か所	2,000人 1か所	1,500人 1か所	1,300人 1か所
内部評価							
実施結果		延べ利用者数：1,019人 前年(3月末まで)：1,064人 (1) 支援サポーターによる支援・相談の場の提供（240日/年） (2) 乳幼児相談「ねんねクラス」「離乳食相談」					

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
・ 子育て世代包括支援センター(※) の訪問事業と連携し、孤立育児家庭へ利用促進を図る。 ・ 養育者のニーズを的確に把握し、来所しやすい体制整備を行う。 ・ ポータルサイト及びSNSでの情報発信に努める。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
今後も未就園児を養育する家庭が日常的に利用しやすい子育て支援拠点施設として、また、気軽に相談できる相談体制の確保に努める。

※令和8年度のこども家庭センター設置を目指す

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		町民課																														
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備																																
2. 事業名		⑤一時預かり事業（一時預かり保育・延長預かり保育）																																
3. 事業内容		保護者の急病や冠婚葬祭等で家庭での保育が一時的に困難となった乳幼児を、昼間に保育施設で預かり、必要な保育を行う事業																																
4. 現状と課題		多様な子育てニーズに対応するための事業の一つである。児童数は減少しているが、年度末時期における職場復帰前の利用や里帰り出産時の上の子どもの受け入れ先等として近年需要が増加している。																																
5. 年次計画（計画値、実績値）																																		
		<table><tr><td colspan="2">区分</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="2">計画値</td><td>見込</td><td>180人</td><td>180人</td><td>180人</td><td>150人</td><td>150人</td></tr><tr><td>確保の内容</td><td>180人</td><td>180人</td><td>180人</td><td>150人</td><td>150人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>確保の内容</td><td>180人</td><td>180人</td><td>180人</td><td>150人</td><td>150人</td></tr></table>						区分		R2	R3	R4	R5	R6	計画値	見込	180人	180人	180人	150人	150人	確保の内容	180人	180人	180人	150人	150人	実績値	確保の内容	180人	180人	180人	150人	150人
区分		R2	R3	R4	R5	R6																												
計画値	見込	180人	180人	180人	150人	150人																												
	確保の内容	180人	180人	180人	150人	150人																												
実績値	確保の内容	180人	180人	180人	150人	150人																												
内部評価																																		
実施結果		(1) 延利用人数：146人（みささ64人、賀茂82人） 前年：145人（みささ94人、賀茂51人） (2) 実利用人数：15人（みささ8人、賀茂7人） 前年：7人（みささ4人、賀茂3人）																																
評価結果（成果）		出生数の減少にもかかわらず利用実績は増加している。保護者の急病、冠婚葬祭、短期の就労等に合わせ、一時的に保育が必要となった子どもの保育需要への対応は今後も必要である。					成果からの方向性 継続維持																											
6. 今後の課題																																		
今後も保護者の急病などに伴う一時的な利用のニーズが想定されることから、サービスの提供体制の維持等に努める。																																		

7. 子ども・子育て会議からの意見
年々、需要は増えており、円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
保育所の3号認定利用者（3歳未満児）の増加に伴い、低年齢児の一時預かり利用は限定的なものとなっている。令和8年度に開始される誰でも通園制度と調整を図り、利用者の需要動向に注視しつつ、一時預かり事業の実施に必要な保育士を確実に確保するよう努める。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 拡大 ☒ その他（他事業との調整）
他事業と調整を図りながら実施体制を検討し、引き続き事業の円滑実施に努める。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		町民課		
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備				
2. 事業名		⑥休日保育事業（休日一時預かり）				
3. 事業内容		日曜日・祝日に保護者が仕事等の都合で児童を保育することができない場合に倉吉市のババール園で一時的に預かる事業				
4. 現状と課題		中部定住自立圏において倉吉市に委託している事業。本町において近年需要がなかったが、核家族化は進行しており引き続き必要である。				
5. 年次計画（計画値、実績値）						
</						

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
必要としている保護者への適切なサービス接続と情報の周知を図る。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
需要に対し適切に対応できるよう、中部圏域市町との連携を深め、利用を促進していく。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	町民課				
1. 基本施策		(1) 子どもが育つ環境の整備					
2. 事業名		⑦病児・病後児保育事業					
3. 事業内容		保護者の子育てと就労支援を目的として、病児及び病後児を病院に敷設された保育専用スペースで一時的に保育する事業					
4. 現状と課題		中部定住自立圏において倉吉市に委託している事業。本町においても一定の需要があり、毎月数名の利用がある。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	病児保育						
	見込	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
	確保の内容	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
	病後児保育						
	見込	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
	確保の内容	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
実績値	連携機関数実績						
	病児保育	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所	
	病後児保育	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
内部評価							
実施結果		(1) 病児保育：年間延べ利用者数 0人 前年：年間延べ利用者数 13人 (2) 病後児保育：年間延べ利用者数 0人 前年：年間延べ利用者数 0人					
評価結果（成果）		今年度より、病児保育の委託先が2か所となったが利用者がなかった。					成果からの 方向性 継続維持
6. 今後の課題							
今年度は利用はなかったが、保護者の子育てと就労の両立の為の枠組みとして事業を継続する必要がある。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
中部圏域市町と連携を図りながら周知に努める。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
需要に対し適切に対応できるよう、中部圏域市町との連携を深め、利用を促進していく。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	町民課				
1. 基本施策		(3) 地域ぐるみの子育て支援					
2. 事業名		⑧ファミリー・サポート・センター事業					
3. 事業内容		子育ての支援を受けたい保護者と支援者を結ぶ会員組織で、育児の援助活動をサポートする事業					
4. 現状と課題		地域子育て支援センターに利用サービスのアドバイザーを配置し、支援者（まかせて会員）の確保に努め、利用促進を図っている。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込（会員数）		6人	6人	6人	12人	12人
			15人	15人	15人	20人	20人
	確保の内容		6人	6人	6人	12人	12人
			15人	15人	15人	20人	20人
		1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
実績値	実績 （会員数・場所）		10人	14人	15人	16人	16人
			15人	18人	20人	15人	16人
			1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
※会員数・・・上段：支援者（まかせて会員）、下段：利用者（お願い会員） *両方会員2名は会員両方に計上							
内部評価							
実施結果		利用実績：0件 前年：5件					
評価結果（成果）		今年度は利用希望が無かったが、核家族化の進行に伴い今後需要が見込まれる。					成果からの 方向性 継続維持
6. 今後の課題							
支援を受けたい人（おねがい会員）と育児を援助したい人（まかせて会員）の双方について周知し、円滑で安定した利用を促進する。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
お願い会員と連携を図りながら周知に努め、利用促進を図る。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
いざという時、気兼ねなく利用できる体制を整え、子育て支援のひと役を担っていく。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		企画健康課		
1. 基本施策		(2) 切れ目のない子育て支援				
2. 事業名		⑨利用者支援に関する事業				
3. 事業内容		子どもや保護者が身近な場所で教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供と相談・助言を行う事業				
4. 現状と課題		家族を取り巻く環境が複雑化し、支援の必要な家庭や支援者のいない家庭が増加傾向にあるため、すべての子育て世代が安心して妊娠・出産・育児ができる切れ目のない「子育てに優しいまちづくり」を推進する。				
5. 年次計画（計画値、実績値）						

7. 子ども・子育て会議からの意見
こどもの人数が減少する中、引き続き事業の充実を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
・企画健康課内の「三朝町子育て世代包括支援センター(※)」において、利用者ニーズを的確に把握し、必要な人へ必要な情報を適時提供していく。 ・ネウボラ事業の積極的な周知啓発を図っていく。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
・子育て世代が気軽に利用できるセンター(※)を目指し環境整備、人材確保に努める。 ・妊娠期から保健師等による切れ目のない子育て支援を行いながら状況の把握に努め、子育て世代の養育支援を行う。

※令和8年度のこども家庭センター設置を目指す

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	企画健康課				
1. 基本施策		(4) 母子の健康管理に関する支援					
2. 事業名		⑩妊婦健康診査事業					
3. 事業内容		妊婦の健康の保持増進を図り、安心、安全な妊娠、出産に向けて適切な健康診査を行う事業					
4. 現状と課題		委託医療機関において、妊婦健康診査を実施。妊婦健診14回分の受診券を発行している。適切な時期（妊娠11週未満）の妊婦健診受診につながっている。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込	対象者数	34人	32人	31人	25人	25人
		健診回数	544回	512回	496回	400回	400回
	確保の内容	実施機関	全て	全て	全て	全て	全て
		健診回数	544回	512回	496回	400回	400回
		実施時期	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月
実績値	対象者数	19名	31名	28人	28人	22人	
	健診回数	142回	218回	218人	213回	199回	
	実施機関	5医療機関	6医療機関	6医療機関	5医療機関	4医療機関	
	実施時期	4月～12月	4～12月	4～3月	4～3月	4～3月	
内部評価							
実施結果		概ね適切な時期（妊娠11週以下）での母子手帳交付につながっている。 平均妊婦健診回数:12回【R5:10回】					
評価結果（成果）		妊婦健診受診券14回分の発行により、適切な時期での妊婦健診受診、安心・安全な妊娠・出産につながっていると考ええる。経済的支援は妊娠継続にも有効であると考ええる。					成果からの方向性 継続維持
6. 今後の課題							
妊婦健康診査費助成については、全県下で足並みをそろえて実施している。今後も県下の状況を踏まえて、取り組みを実施していく。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
継続実施
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
安心・安全な妊娠・出産ができるよう、経済的な支援を継続する。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	企画健康課				
1. 基本施策		(2) 切れ目のない子育て支援					
2. 事業名		①乳児家庭全戸訪問事業					
3. 事業内容		生後2か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業					
4. 現状と課題		すべての乳児家庭への訪問が実施できている。 育児不安のある家庭には産後早期に訪問する一方で、その後育児教室等でのフォローにつなげ、切れ目ない支援につなげている。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込（訪問件数）	34件	32件	31件	25件	25件	
	確保の内容（訪問率）	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値	実績（訪問件数）	16件	19件	19件	15件	20件	
	実績（訪問率）	100%	100%	100%	100%	100%	
内部評価							
実施結果		出生後、随時訪問しており、今後も訪問を継続する。					
評価結果（成果）		出生届の提出後、保健師が電話連絡を行い、母子の健康状態を聞き取りし、訪問時期を決定。子育て支援センターで開催する育児教室の参加へとつなげることができた。					成果からの 方向性 継続維持
6. 今後の課題							
育児の孤立化を防ぐため、育児教室への参加を呼び掛けるとともに、参加のない方について、訪問等を通じて養育環境の把握につとめる。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
乳児全戸家庭訪問、すくすく訪問についての評価の実施
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
産後の母子を支え、ケアすることによって、育児満足度を高めたい。 また、生後1年未満は虐待死のリスクも高いことから、この時期の訪問を通じて育児不安の軽減を図る。

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課		企画健康課		
1. 基本施策		(2) 切れ目のない子育て支援				
2. 事業名		⑫-1養育支援訪問事業				
3. 事業内容		養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に対する指導、助言等を行う事業				
4. 現状と課題		関係機関と連携し、養育支援が特に必要な家庭の見守りを行う中で、必要に応じて保健師が訪問し、各家庭の養育環境の確認・支援を行っている。				
5. 年次計画（計画値、実績値）						
区分		R2	R3	R4	R5	R6
計画値	見込	必要に応じて適宜実施				
実績値	実績	3人（延10回）	1人（延1回）	0人	0人	2人
内部評価						
実施結果		養育訪問が必要なケースについては保健師間で情報共有し、関係機関とも連携し支援できる体制を整えている。今後も情報共有の方法や支援方法について随時検討し、より良い支援につなげる。 ※訪問対象者 5名（5家庭）【R5:4名（3家庭）】				
評価結果（成果）		関係機関との連携により、家庭環境の把握に努め、必要に応じて支援につなぐことができた。				成果からの方向性 継続維持
6. 今後の課題						
養育訪問が必要なケースについては保健師間で情報共有し、訪問した保健師だけでなく、関係機関と連携して支援できる体制を整えている。今後も情報共有の方法や支援方法について随時検討し、より良い支援につなげる。						

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
スタッフ間での情報共有を図り、支援の方向性について検討する。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
子育て世代包括支援センター(※)を拠点として、スタッフ間の連携を図ることに加え、保育園、学校、相談機関、医療機関との連携を図る。

※令和8年度のこども家庭センター設置を目指す

三朝町子ども・子育て支援事業計画進行管理表（R6実績値）

		担当課	町民課				
1. 基本施策		(2) 切れ目のない子育て支援					
2. 事業名		⑫-2要保護児童対策地域協議会					
3. 事業内容		児童虐待等が疑われる家庭に対し、関係機関との連携のもと、要保護児童への支援・予防等の対応を協議する					
4. 現状と課題		児童養護の状況を報告・協議する場として毎年度、関係機関の代表者会議を開催するほか、登録ケースの定期的な現状報告を行う実務者会議、新規・継続ケースの個別支援会議を開催している。					
5. 年次計画（計画値、実績値）							
		区分	R2	R3	R4	R5	R6
計画値	代表者会議						
	見込	1回	1回	1回	1回	1回	
	確保の内容	1回	1回	1回	1回	1回	
	実務者会議						
	見込	3回	3回	3回	3回	3回	
	確保の内容	3回	3回	3回	3回	3回	
	個別支援会議						
	見込	ケース発生に応じて開催					
	確保の内容	ケース発生に応じて開催					
実績値	開催実績						
	代表者会議	1回	1回	1回	1回	1回	
	実務者会議	1回	1回	1回	1回	2回	
	個別支援会議	10回	10回	13回	10回	9回	
内部評価							
実施結果		(1) 代表者会議をR6. 8. 1に開催 (2) 実務者会議をR6. 9. 27 R7. 2. 20開催 (3) 個別支援会議を9回開催（5ケース）					
評価結果（成果）		新規、継続の要保護ケースについて状況監視、支援のあり方について関係機関との連携を図り支援を行った。					成果からの 方向性 継続維持
6. 今後の課題							
多様化する家庭環境（ひとり親家庭、多子家庭等）における不適切な養育についての通告・対応や、ケース家庭（児童）の転出入が増加しており、支援や見守りが途切れることがないよう、連携機関との情報共有を綿密に図る必要がある。							

7. 子ども・子育て会議からの意見
引き続き円滑な事業実施を図ること。
8. 課題の解決方法・手段
・ 妊娠期からフォローが必要な特定妊婦へのアプローチを強化していく。 ・ 養育に悩むグレーゾーンの母親等の状況把握、家庭訪問等の継続支援を行う。 ・ 困難ケースが増加する中、関係機関とより密接な連携を図り支援を繋いでいく。
9. 今後の子育て支援事業としての方向性
☐ 完了 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 拡大 ☐ その他（ ）
妊娠期からの保健師をはじめとする支援者ネットワークを活用しながら、子どもと関わる地域や関係機関等と連携を図り、早期発見と予防体制の充実を図る。